***起業****サークル募集！支援金額最大****20万円****！！*

福井大学 “学生起業サークル支援事業”　募集要項

福井大学産学官連携本部では、本学卒業生の寄付（※1）により、本学学生のアントレプレナーシップ（起業マインド）の養成のため、本学学生を中心としたサークル団体による起業準備活動を支援します。

１．支援額

　下記の表を参照、1団体当たり最大20万円、3～6件の採択を想定。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属する福井大生 | 学生のみで構成された団体 | 企業・自治体等の社会人メンターを有する団体（※3） |
| 4名以下（※2） | 5万円 | 10万円 |
| 5名以上（※2） | 10万円 | 20万円 |

（執行条件）福井大学の執行規定に従い、産学官連携本部事務室を通じて、起業に関係する活動に使用すること。原則として、本学学生の活動に係るもののみにしか使用できません。また飲食交際費等には使用できません。

２．支援期間

　平成29年6月の採択日～平成30年2月28日

３．応募資格

　起業準備活動（自団体による起業トライアル、地域に起業マインドを根付かせる支援活動、その他、起業テーマを通じて地域に貢献する活動等）を行う、福井大学生を中心としたサークル団体。

（既存のサークルで、新たに起業準備活動等を行う場合は、当該活動に従事する人数のみを記入）

４．応募・お問い合わせ

　応募用紙に必要事項を入力し、産学官連携本部事務室にメールにて提出してください。直接記入した場合は、スキャンするか、窓口に直接持参ください。

　（応募用紙提出）産学官連携本部事務室（9時～16時）　office＊ hisac.u-fukui.ac.jp

　（応募締め切り）平成29年5月31日　　（採否結果）6月中下旬を予定（※4）（※5）

　（お問い合わせ）産学官連携本部准教授　竹本拓治　takemoto＊ u-fukui.ac.jp ＊を半角＠に変更

５．活動の報告義務

　平成30年3月31日までに、A4で1～2枚の活動報告書を提出していただきます。

（※1）「（株）ミッション起業支援基金」による。

（※2）福井大学以外の学生を含むサークルでも構いません。ただし、4名以下、5名以上で区分する学生数は、福井大学に籍を有する学生（休学者・社会人学生を除く学部生・院生）とします。

（※3）メンターとなりうる企業・団体等の社会人を含んだ取り組みを歓迎します（ただし本学教職員は「1.支援金区分」におけるメンター区分には含まないが、メンター的な推薦教職員がいる団体が好ましい）。社会人の方は、学生サークルが活動する上で、ビジネス実務知識の提供や、コネクションの広がりを支援する役割が期待されます（起業準備活動への直接的な関与を否定するものではない）。

（※4）審査の過程で、応募者や社会人メンター、推薦教職員に、ヒアリングを行うことがあります。

（※5）今後、「学生等による試作支援事業（1件最大100万円）」の学内公募も予定しています。本採択団体および所属する構成員の方は、そちらにも合わせて応募することを推奨いたします。

福井大学 ”起業学生サークル支援事業”　応募用紙

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団体名（仮でも可） |  | 設立日 | 　　年　　月 |
| 代表者（福大生） | （学籍番号）　　　　（名前）　　　　　　　　（年齢） | 代表者電話番号 | 　(　　)　　 |
| 代表者住所 | eメールアドレス（必須）：　　　　　　　　　＠ |
| 総メンバー数 | 名（うち福井大生　　　名） | ［該当に〇］　①新規設立　②既存サークル　③その他 |
| 代表者を除く主要なメンバー（福井大生のみを記入。福大生5名以上の枠で申し込む場合は、代表を除く4名以上を記入） |
| （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 | （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 |
| （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 | （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 |
| （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 | （学籍番号）　　　　　　（名前）　　　　　　 |
| 社会人メンター（いる場合） | （名前）　　　　　　　　（所属・役職）　　　　　　　　　（連絡先電話） |
| 本学推薦教職員（いる場合） | （名前）　　　　　　　　（所属・役職）　　　　　　　　　（連絡先内線） |
| 活動のタイトル |  |
| 活動の予定をわかりやすく記入（必要に応じ別紙を追加可） | 支援希望額合計と使途予定 |
|  | 左記の活動予定と関係する計画を記入してください。左記の活動内容に大きな変更がない限り、使途の変更は可能です。（内訳）　　　　　　（金額）　　　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　　　　　（　　万円）　　　　　　合計　　　　　　万円［備考記入欄］　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（記入例①）試作品材料　　　　　　　（　5万円）視察旅費（京都3名）　　（　3万円）事務用品　　　　　　　　（　1万円）その他　　　　　　　　　（0.5 万円）合計　　　　9.5万円（記入例②）会場借上費　　　　　　　（　1万円）講師謝金（2名）　　　　（　4万円）合計　　　　　5万円（記入例③）試作品材料　　　　　　　（ 20万円）※全体30万円想定のうちの一部として合計　　　　 20万円 |